



日中友好新聞

新春のつどい 盛大に挙行

日中友好協会
愛知県連合会
県連版第354号
〒464-0821
名古屋市中種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.
nittyu-aichi.jp
E-mail:niccyauchi@gmail.com
郵便口座
00890-6-25484

日中友好協会愛知県連合会の主催の「新春のつどい」が、2月11日（建国記念の日）午後から、本山生協会館にて、開催されました。

森谷光夫会長（写真1）は、「2月8日投票の総選挙の結果を受けて、昨年11月の高市総理の『台湾有事は日本の存立危機事態に当たる』との発言以降、日本と中国の関係は政治・経済・文化交流など、大変に難しい局面になりました。そのような状況の中で高市総理は突然に国会を解散し総選挙に打って出ました。結果は自民党の圧勝でした。このため日本と中国の関係はさら



に厳しい状況になるでしょうが、私たち日中友好協会はこれまで以上に中国の人々と市民同士の友好交流を続け、再び戦争を起さない為に努力していきましょう。」と挨拶しました。

次に来賓として、豊田市を中心に日中友好に努力されている「華豊の友」会長の任利民さん（写真2）は「日本と中国の関係が非常に悪化していることに憂慮しています。この

「日本と中国との貴重な交流の場」



ような状況の中で、日中友好協会の運動が益々大切であると思います。これからも一層友好交流を深めていきましよう」と挨拶をされました。愛知県連の文化教室のひとつ「茶友会」講師の姜力（ジャンリー）さん（写真3）が、「愛知県連の事務所（本山）で、『茶友会』を毎月開催しています。中国茶に関心のある方はお気軽にご参加を。また、この会場の一角で『茶館』を設けていますので一服していただく」と紹介しました。柳田常樹・県連副事務局長の発声で乾杯の後、しばらく歓談に入りました。



〈第2部〉は、はじめに豊田の「華豊の友」文化芸術団の皆さんによる発表がありました。中国国家芸術と称される「変面」（写真4）から始まり、現代バレエ、太極拳の表演、健身気功、踊り「花旦」などが表演されました（写真5）。

各発表の幕間の歓談中には、中国旅行に参加した人や、中国語教室の受講者等が想いを語り交流しました。「かすりの会」の菱川玲子さんは、民族舞踊の紹介をし、日本各地の伝統舞踊（写真6）に参加



者から大きな拍手が送られました。司会は西尾尚子さん、櫻井久美子さんの二人がごつとめました。お子さん三人と参加した西尾さんは途中、車がパンクするというハプニングに見舞われ到着が遅れましたが、お子さんも交え楽しく司会を努めました。最後は永井淑子副理事長閉会の挨拶でお開き。このような草の根の日中友好をこれからも大切にしていくことの思いを新たにしたいです。

緊急！「これから日本はどこへ向かうのか」 シンポジウム 日中関係悪化のきっかけとなった 高市首相発言と「台湾有事」

—日中関係を揺るがした日本政治の問題を衝く—

高市首相は昨年11月「台湾有事は日本の存立事態である」と発言、米中両国が戦火を交えた場合、日本も参戦する態度を表明しました。日中の歴史的合意などを踏みこむ行為として中国は反発し、国内でも発言を撤回すべき、との声があがりましたが、高市内閣は発言撤回もせず、必要な説明もせず、日中関係は悪化したままです。

年明けに高市首相は国会を解散、総選挙を実施し、大勝しました。中国を標的に大軍拡を進めてきましたが、さらに憲法改悪、スパイ防止法などを画策し、戦前のような状態に戻し、いつでも参戦可能な状況にしようとしています。

是非このシンポジウムに多くの方々が参加し、あらためて憲法改悪反対、戦争反対の声を大きくして、対抗しようではありませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

とき 2026年3月29日(日) ところ 台東区民会館 9階ホール
14:00開会～16:30閉会(13:00開場) **☆会場とオンラインの併用型開催**

参加費 1人1,000円(先着300人)
オンライン参加はPC1台あたり1,000円(先着300台)

東京都台東区花川戸2-6-5
東武線浅草駅 正面改札口から徒歩5分
東京メトロ銀座線浅草駅 7番出口から徒歩5分

☆申込方法

- ①会場参加の方は、当日会場で参加費を支払ってください。
- ②オンライン参加の方は、**右記QRコードからの申込みをお願いします。**

(②で申し込まれた方には開催後、録画も送付予定)

URL版→<https://forms.gle/XaMBiqyQogzNVatY6>



パネリスト：

日本中国友好協会会長 **井上 久士** さん



外交問題評論家・元外務省国際情報局局长 **孫崎 享** さん



「平和を求め軍拡を許さない女たちの会」共同代表 **田中 優子** さん



台湾からの報告 中央研究院欧米研究所研究員 **盧 倩儀** さん



*台湾の米国依存脱却、中国本土との平和的解決を求める「2023年反戦声明」起草者の一人

コーディネーター 協会副理事長 **大西 広**さん



主催：日本中国友好協会

共催：日本中国友好協会東京都連合会、同神奈川県連合会、同千葉県支部、同東葛飾支部、同さいたま支部、同埼玉西部支部、同所沢支部、同群馬県連合会

お問い合わせ：〒111-0053

東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル5階 日本中国友好協会

Tel：03(5839)2140 Fax：03(5839)2141

メール：nicchu@jcfca-net.gr.jp

HP：https://jcfca-net.gr.jp/

◆今回の選挙結果を通じて、戦争への危険がいよいよ増してきました。

◆このシンポジウムは事前の申込みが必要です。また有料のため、県連事務所で視聴していただけるようになります。

◆皆様のご参加を歓迎いたします。

県連だよ!

▼豊田支部：新「知ろう中国カフェ」は、2月21日(土) 13:30～15時。崇化館にて、参加費200円(会員100円) 初回は「3年ぶりの春節・帰省列車」を見て語る、を予定。

▼熱中支部：4月に映画会「山の郵便配達」を予定。
▼漢詩の会 次回：2月22日(日) 14時、茶友会
▼2026年の全国大会は、

6月6日(土)・7日(日)に沖縄で開催されます。
◆「中国百科検定」
①次回・第19回は、7月4日(土) 初級～2級
②第20回は、12月5日(土) 初級～特級

中国ものしりコーナー

63. 中国の伝統芸能3選 京劇 変面 雑技

■京劇

「京劇(きょうげき)」は、かつては「京戲」「平劇」「国劇」などとも呼ばれました。台湾(中華民国)は公式には「北京」という呼称を認めていないため、今でも「平劇」「国劇」と呼んでいます。清末民初まで、単に「皮黄」「大戲」と言えば、もっぱらこの京劇を指す場合が多かった。清朝半ば以来およそ二百年の歴史を持つ、中国最大の地方劇です。



■雑技

「雑技(ざつぎ)」とは、中国のサーカスとして世界的に知られ、長い歴史と中華民族の特色を持つ公演芸術です。雑技を主な業務とする組織や会社・団体は、「雑技団(ざつぎだん)」と呼ばれています。



■変面

「変面(へんめん)」とは、四川の川劇に属し、お面が瞬時に10枚枚変わる人気が高い伝統芸能であり、どのような仕組みで、お面を変えているのかは、「秘伝」とされてい